

第53回 獣医学セミナー

すごい人工授精 ～産業動物から伴侶動物までの 人工授精法の違いと課題～

谷口雅康 先生
(獣医繁殖学)

2015年 6月24日 (水)
17:00-18:00

iCOVER 1階101 (形態構造学実習室)

家畜に対する人工授精は、1回の射出精液を希釈することで多数の雌に授精でき、凍結することで半永久的に保存ができる。優秀な雄の遺伝形質が急速に広範囲に広がる。交尾により伝搬する伝染病を予防することができるなど、そのメリットは多大です。しかし、牛では広く一般的に利用される人工授精法も、動物種が異なれば手法も普及度も異なります。牛以外の動物ではなぜ人工授精が普及しにくいのか？

本セミナーでは様々な動物種による生殖器の形態の違いとそれに合わせた人工授精法を解説するとともに、牛で問題となっている受胎率の低下について考察します。

★飲み物・おやつを用意します。

教員・学生の積極的な参加をお願いします！★

連絡先：加納 聖 (5883)
清水 隆 (5895)

共同獣医学部

